

### ◇外資系企業誘致事業

補正予算約 345 万円

**松沢** 外資系企業とどのような交流を目指しているのか。

A. 基本的には成長力の高い国や地域、国際交流等を進めている姉妹・連携都市等を想定し、成長力の高い企業や様々な技術を有する企業を特に本県へ招き、投資を促すということを考えている。具体的に想定している地域としては、一昨年度から企業誘致セミナーを開催する等で取り組んでおり、台湾を見込んでいる。

**松沢** 事業の実績について

A. 令和6年度は7件、令和5年度は7件、平均すると7～8件程度の外資系企業の誘致ができています。

### 旧第二学校給食センター跡地の企業誘致

旧第二学校給食センター及び旧トレーニングセンター跡地は、敷地面積が約3000㎡、令和4年に売却に向けた公募型プロポーザルを実施し、令和5年に台湾の外資系企業である「MASAKI株式会社」と2億3000万円で土地売買契約を締結した。台湾、中国、インド及びタイにて鉄や銅などの金属製品を加工する際にテーブルに乗せて回転しながら削るための機器であるロータリーテーブルなどの工作機械の製造、販売及び輸出入の事業を展開しており、令和8年度の事業開始に向け、工場の建設を進めている

#### 松沢の視点

外資系企業においては、地域や企業とのつながりをもっているのか、中長期的視点のもと経過を見守る必要がある。

### 千葉県全体が国家戦略特別特区に

成田空港は、令和10年度末の供用を目指し、滑走路の新設や延伸など進めている。また、ワンターミナル化や新貨物地区の整備など、「第2の開港」とも言うべき『新しい成田空港』構想が国家プロジェクトとして進められている。令和7年6月に、成田空港の機能強化を契機として、国際的ビジネス拠点や国際競争力のある新事業を創る目的で国家戦略特別区域の拡大を千葉県全体に追加指定された。規制改革を推進し、民間投資を呼び込む環境を整備することで、さらなる千葉県の経済活性化に繋がれると期待されている。



出典 成田空港「第2の開港」を拠点とするアクションパッケージ

#### 松沢の視点

成田空港の機能強化と並行して、成田空港と首都圏を最短で結ぶ交通アクセスを向上させることで、千葉県のポテンシャルを活かすことが可能である。そのためには、北千葉道路の早期整備が不可欠であり、未事業区間である鎌ヶ谷地域の早期着工を求めている。

## ～市民の声を県政に～

### かずさアカデミアパークに企業内大学が進出

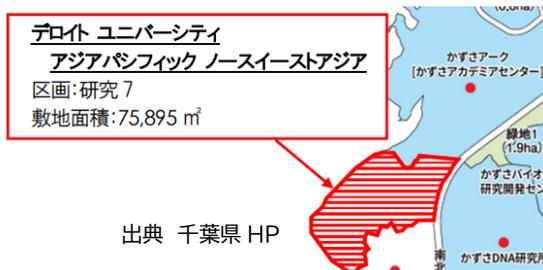
かずさアカデミアパークは木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市に整備されたバイオテクノロジーを中心とした先端技術産業に特化した研究開発拠点である。

木更津市かずさ鎌足地区において、「デロイト トーマツ グループ」から、リーダーシップの育成等を目的とした独自の研修施設である「デロイト ユニバーシティ アジアパシフィック ノースイーストアジア」の立地意向が示された。

施設の建設着工は令和9年頃で、令和11年に開校予定である。第一期の初期投資額として50億円から75億円を見込んでいる。

※デロイト トーマツ グループ

世界最大規模の会計事務所であるデロイトグローバルネットワークの一員として、日本国内におけるコンサルティングサービスを包括的に提供している。



出典 千葉県 HP

#### 松沢の視点

企業誘致に取り組むことにより、地域の経済活性化に繋がる。稼働するまでの建設費用等の経済的効果や新たな雇用が生まれることで、周辺の産業の発展といった経済的波及効果も期待される。さらに、立地自治体には法人市県民税、土地建物の固定資産税、従事者が県内に在住していれば、個人住民税といった税収の確保という点もある。

### 千葉県忠霊塔再整備へ



千葉県忠霊塔

千葉県忠霊塔は、昭和29年、千葉公園内に日清・日露の両戦役以降第二次世界大戦までの千葉県出身の戦没者の御霊を慰めるとともに、広く県民に平和愛国の精神を高めていくことを目的として建てられた。

現在は老朽化し、耐震性能が不足していると診断されたことから、千葉市若葉区にある桜木霊園への再整備が計画されている。

### 戦後80年 後世に伝えたい

新しい忠霊塔は令和7年から8年にかけて本工事を実施し、供用開始は令和8年度を予定。

イメージパース 出典 千葉県



忠霊塔(鎌ヶ谷市初富本町)

鎌ヶ谷市初富本町にも忠霊塔が建てられている。戦後80年を迎え、戦争体験者が少なくなるなかで、記憶・記録をどう後世に残していくか、一人ひとりの平和への意識の向上を高めることが大切である。